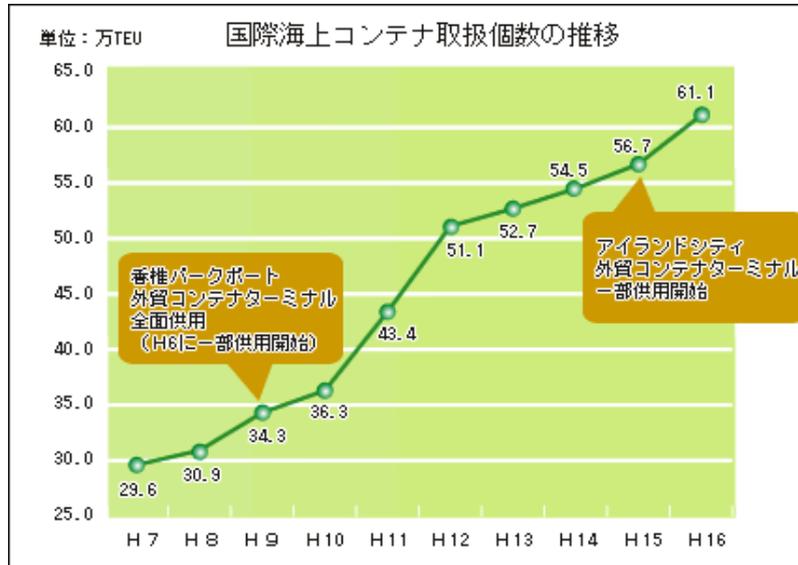


## 平成 16 年における港勢データ

### ○平成 16 年国際海上コンテナ取扱個数 61 万 1,184TEU、過去最高を更新

平成 16 年国際海上コンテナ取扱個数は、前年比 7.8%増の 61 万 1,184TEU で過去最高を更新。  
 輸出は、タイヤ等の“ゴム製品”(前年比 108.6%)、古紙等の“再利用資材”(同 148.9%)等の増加により 2.1 万 TEU 増加した。  
 輸入は、家電品等の“電気機械”(同 128.8%)、“製造食品”(同 133.4%)等の増加により、1.8 万 TEU 増加した。



※コンテナ取扱個数はダイレクトとフィーダーの合計値。

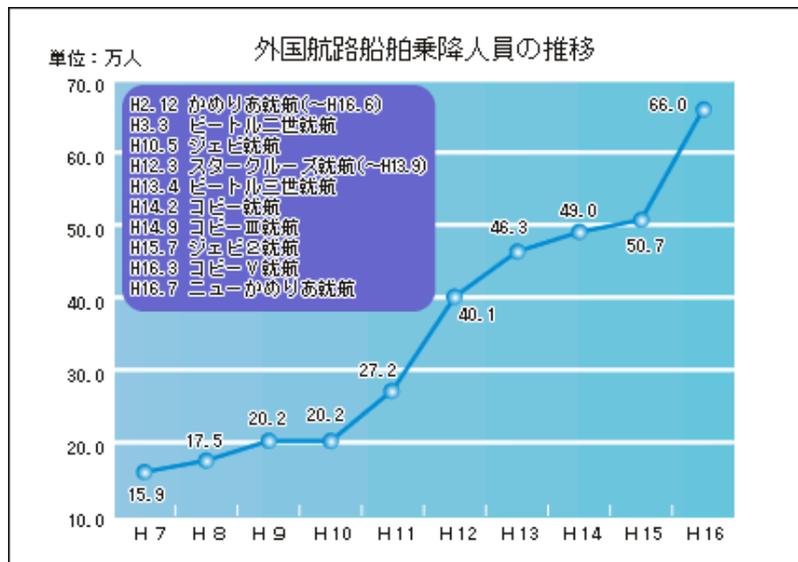
※ TEU (Twenty-foot Equivalent Unit) : コンテナ個数を数えるときの単位で、20 フィート換算個数のこと。  
 20 フィートコンテナ 1 個が 1TEU。  
 40 フィートコンテナ 1 個は 2TEU。

### ○平成 16 年外国航路船舶乗降人員、一気に 60 万人を突破

平成 16 年外国航路船舶乗降人員は 66 万人で、平成 15 年実績(50 万 6,739 人)を大きく上回り、過去最高を更新。前年に初めて 50 万人台を記録してからわずか 1 年で 60 万人を突破した。

そのうち、韓国航路における船舶乗降人員は 65 万 7,157 人(前年比 129.8%)で、いわゆる「韓流」ブームで韓国へ行く日本人観光客の増加とゴルフや温泉が目的で日本へやって来る韓国人観光客の増加が背景にあるものと考えられる。

なお、全国の港湾の中でも、平成5年以降 12 年連続の第1位となる見込み。



## 1. 入港船舶

入港船舶数は 41,208 隻(前年比 98.8%)、総トン数は 5,565 万総トン(同 102.4%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数 6,135 隻(同 103.6%)・総トン数 2,930 万総トン(同 103.7%)、内航は隻数 35,073 隻(同 98.0%)・総トン数 2,635 万総トン(同 100.9%)であった。(図-1、表-1 参照)

図-1 入港船舶の推移

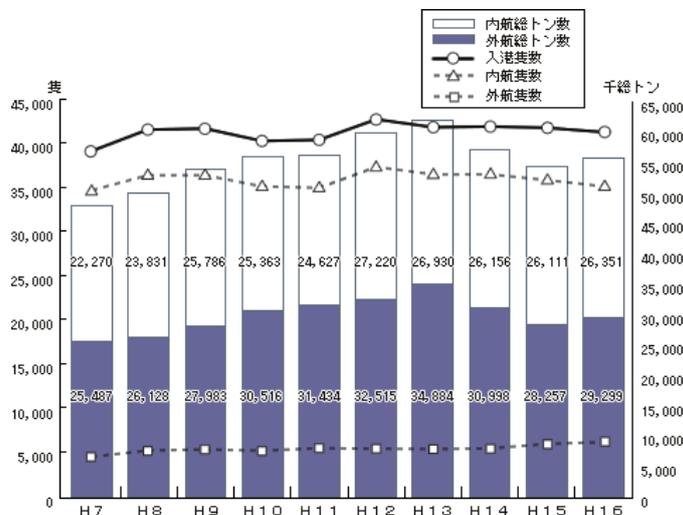


表-1 入港船舶の推移

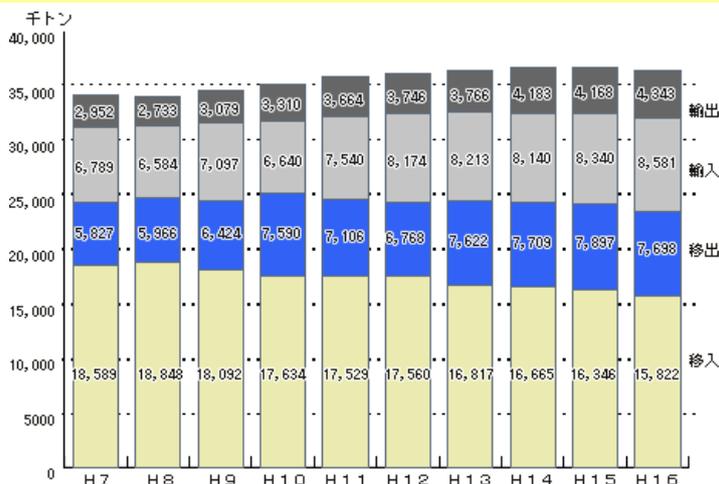
(単位: 隻、総トン)

区分	平成 16 年		15 年		14 年		13 年		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
外航	隻数	6,135	103.6%	5,923	109.4%	5,412	101.3%	5,345	99.3%
	総トン数	29,298,553	103.7%	28,256,948	91.2%	30,997,602	88.9%	34,883,779	107.3%
内航	隻数	35,073	98.0%	35,785	98.2%	36,439	100.0%	36,430	97.7%
	総トン数	26,350,503	100.9%	26,110,952	99.8%	26,156,498	97.1%	26,929,899	98.9%
総数	隻数	41,208	98.8%	41,708	99.7%	41,851	100.2%	41,775	97.9%
	総トン数	55,649,056	102.4%	54,367,900	95.1%	57,154,100	92.5%	61,813,678	103.5%

## 2. 海上出入貨物量

海上出入貨物量は、外国貿易 1,292 万トン(前年比 103.3%)、国内貿易 2,352 万トン(同 97.0%)であり、総貨物量は 3,644 万トン(同 99.2%)であった。これを出入別に割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 33.0%・1,204 万トン、輸移入は 67.0%・2,440 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。(図-2、表-2 参照)

図-2 海上出入貨物量の推移



表－2 海上出入貨物量の推移

(単位:トン)

区分		平成 16 年		15 年		14 年		13 年	
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
外国貿易	輸出	4,343,410	104.2%	4,167,881	99.6%	4,182,807	111.1%	3,766,073	100.5%
	輸入	8,580,944	102.9%	8,340,160	102.5%	8,139,710	99.1%	8,212,898	100.5%
	計	12,924,354	103.3%	12,508,041	101.5%	12,322,517	102.9%	11,978,971	100.5%
内国貿易	移出	7,698,220	97.5%	7,897,381	102.4%	7,709,024	101.1%	7,622,254	112.6%
	移入	15,821,501	96.8%	16,345,751	98.1%	16,664,708	99.1%	16,817,122	95.8%
	計	23,519,721	97.0%	24,243,132	99.5%	24,373,732	99.7%	24,439,376	100.5%
総数	輸移出	12,041,630	99.8%	12,065,262	101.5%	11,891,831	104.4%	11,388,327	108.3%
	輸移入	24,402,445	98.9%	24,685,911	99.5%	24,804,418	99.1%	25,030,020	97.3%
	計	36,444,075	99.2%	36,751,173	100.1%	36,696,249	100.8%	36,418,347	100.5%

※フェリー(自動車航送船)による航送車輛トン数は含まない

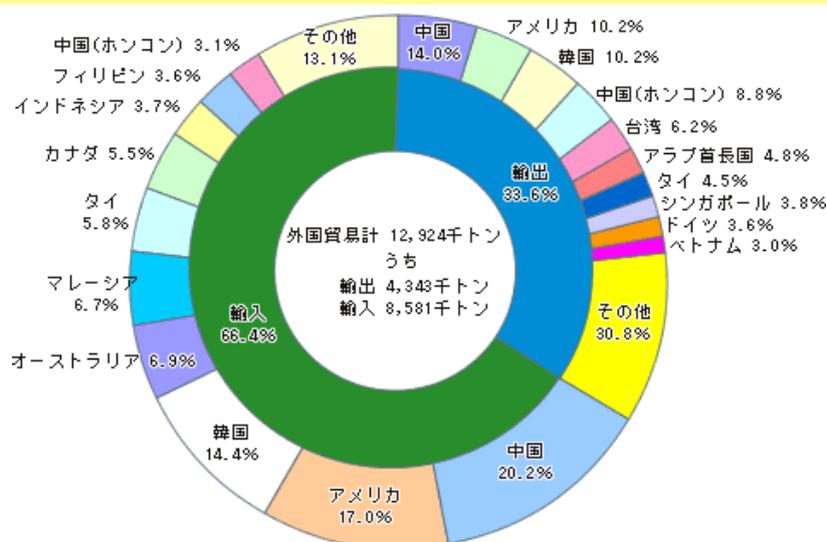
表－3 フェリー(自動車航送船)による航送車輛トン数の推移

(単位:トン)

区分	平成 16 年		15 年		14 年		13 年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
移出	2,593,835	99.8%	2,598,900	111.2%	2,337,365	95.5%	2,447,735	99.9%
移入	2,711,345	98.3%	2,757,090	107.3%	2,570,230	97.3%	2,640,395	99.5%
計	5,305,180	99.1%	5,355,990	109.1%	4,907,595	96.5%	5,088,130	99.7%

## 2-1. 外国貿易

図－3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



### 2-1-1. 輸出

#### (1)貨物量

輸出貨物量は 4,343 千トン(前年比 104.2%)であり、外国貿易の 33.6%を占めている。<図-3、表-2参照>

#### (2)品種別

輸出貨物量 4,343 千トンのうち「ゴム製品」が 1,913 千トン(44.0%)、「再利用資材」が 425 千トン(9.8%)「産業機械」が 407 千トン(9.4%)であった。<図-4・5、表-4 参照>

図-4 輸出(4,343千トン)

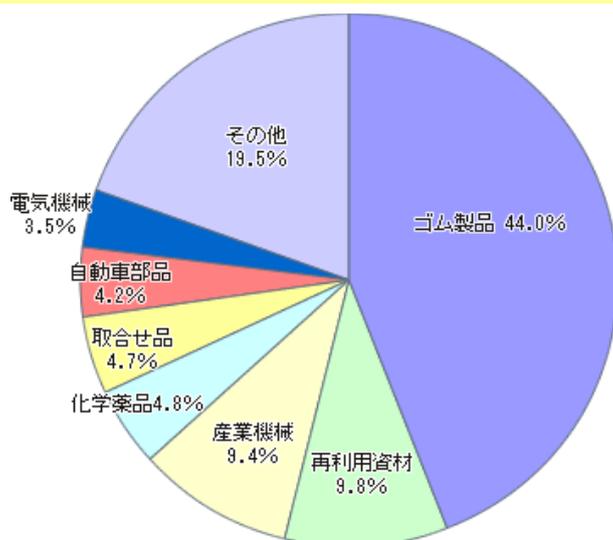
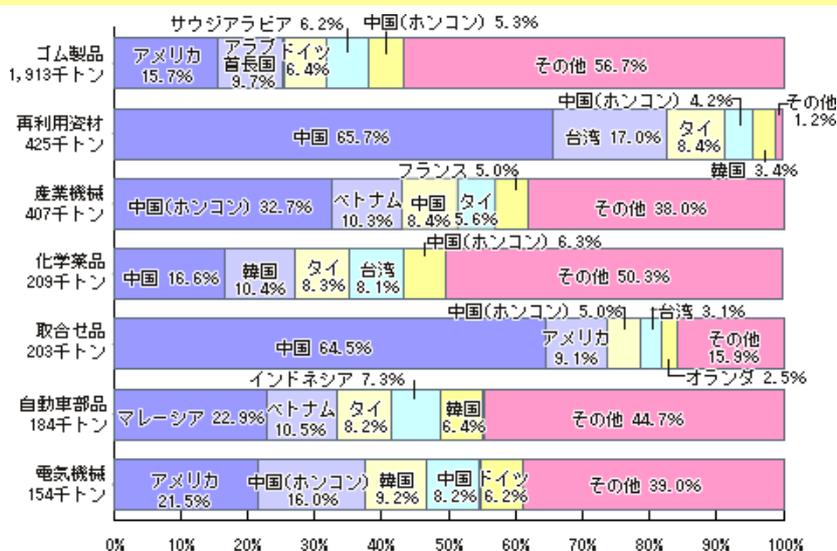


表-4 輸出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品名	平成16年	構成比	15年	構成比	増減	前年比
1	ゴム製品	1,913,126	44.0%	1,826,208	43.8%	86,918	104.8%
2	再利用資材	425,126	9.8%	312,342	7.5%	112,784	136.1%
3	産業機械	406,612	9.4%	409,740	9.8%	▲ 3,128	99.2%
4	化学薬品	208,958	4.8%	200,028	4.8%	8,930	104.5%
5	取合せ品	202,935	4.7%	117,431	2.8%	85,504	172.8%
6	自動車部品	183,752	4.2%	170,709	4.1%	13,043	107.6%
7	電気機械	153,966	3.5%	178,260	4.3%	▲ 24,294	86.4%
	上記以外その他	848,935	19.5%	953,163	22.9%	▲ 104,228	89.1%
	合計	4,343,410	100.0%	4,167,881	100.0%	175,529	104.2%

図-5 輸出上位7品種の相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が610千トン(14.0%)、アメリカが449千トン(10.3%)、韓国が444千トン(10.2%)以下中国(ホンコン)、台湾と続いている。(図-3、表-5 参照)

表一五 輸出 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最終船卸国・地域名	平成 16 年	構成比	15 年	構成比	増減	前年比
1	中国	610,168	14.0%	269,733	6.5%	340,435	226.2%
2	アメリカ	449,210	10.3%	608,877	14.6%	▲ 159,667	73.8%
3	韓国	443,538	10.2%	281,000	6.7%	162,538	157.8%
4	中国(ホンコン)	381,591	8.8%	411,616	9.9%	▲ 30,025	92.7%
5	台湾	267,165	6.2%	318,503	7.6%	▲ 51,338	83.9%
6	アラブ首長国	209,467	4.8%	171,045	4.1%	38,422	122.5%
7	タイ	194,969	4.5%	241,841	5.8%	▲ 46,872	80.6%
8	シンガポール	165,116	3.8%	179,694	4.3%	▲ 14,578	91.9%
9	ドイツ	154,771	3.6%	116,888	2.8%	37,883	132.4%
10	ベトナム	129,624	3.0%	113,360	2.7%	16,264	114.3%
	上記以外その他	1,337,791	30.8%	1,455,324	34.9%	▲ 117,533	91.9%
	合計	4,343,410	100.0%	4,167,881	100.0%	175,529	104.2%

2-1-2. 輸入

(1)貨物量

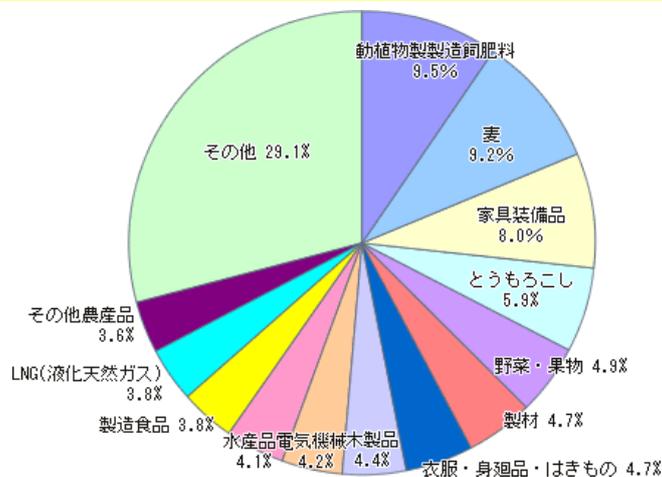
輸入貨物量は 8,581 千トン(前年比 102.9%)であり、外国貿易の 66.4%を占めている。<図-3, 表-2参照>

(2)品種別

輸入貨物量 8,581 千トンのうち「動植物性製造飼肥料」が 813 千トン(9.5%)、「麦」が 789 千トン(9.2%)、「家具装備品」が 687 千トン(8.0%)であった。

<図-6・7、表-6 参照>

図-6 輸入(8,581千トン)

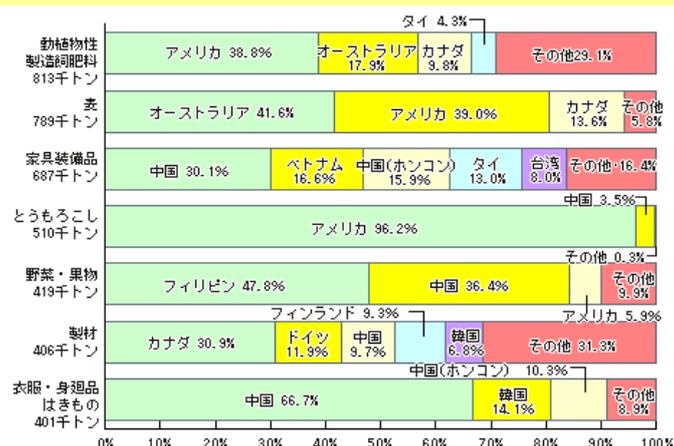


表一六 輸入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	平成 16 年	構成比	15 年	構成比	増減	前年比
1	動植物性製造飼肥料	813,121	9.5%	859,162	10.3%	▲ 46,041	94.6%
2	麦	789,410	9.2%	830,846	10.0%	▲ 41,436	95.0%
3	家具装備品	686,762	8.0%	720,312	8.6%	▲ 33,550	95.3%
4	とうもろこし	510,213	5.9%	465,085	5.6%	45,128	109.7%
5	野菜・果物	419,451	4.9%	339,773	4.1%	79,678	123.5%
6	製材	406,369	4.7%	359,669	4.3%	46,700	113.0%
7	衣服・身廻品・はきもの	401,366	4.7%	349,526	4.2%	51,840	114.8%
	上記以外その他	4,554,252	53.1%	4,415,787	52.9%	138,465	103.1%
	合計	8,580,944	100.0%	8,340,160	100.0%	240,784	102.9%

図-7 輸入上位7品種の相手国・地域



(3) 主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が 1,733 千トン(20.2%)、アメリカが 1,456 千トン(17.0%)、韓国が 1,233 千トン(14.4%) 以下オーストラリア、マレーシアと続いている。<図-3、表-7参照>

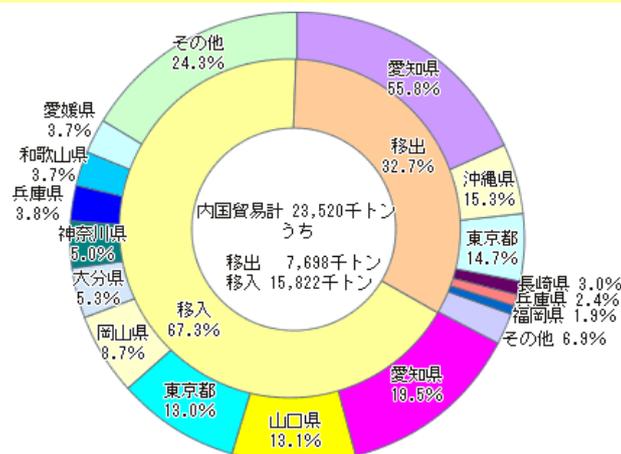
表-7 輸入 国・地域別取扱量(上位10カ国・地域)

(単位:トン)

順位	最初船積国・地域名	平成 16 年	構成比	15 年	構成比	増減	前年比
1	中国	1,732,939	20.2%	1,583,938	19.0%	149,001	109.4%
2	アメリカ	1,455,622	17.0%	1,523,022	18.3%	▲ 67,400	95.6%
3	韓国	1,233,316	14.4%	974,199	11.7%	259,117	126.6%
4	オーストラリア	588,299	6.9%	569,904	6.8%	18,395	103.2%
5	マレーシア	577,655	6.7%	595,898	7.1%	▲ 18,243	96.9%
6	タイ	501,700	5.8%	479,859	5.8%	21,841	104.6%
7	カナダ	470,311	5.5%	617,021	7.4%	▲ 146,710	76.2%
8	インドネシア	316,400	3.7%	247,887	3.0%	68,513	127.6%
9	フィリピン	311,870	3.6%	263,509	3.2%	48,361	118.4%
10	中国(ホンコン)	264,991	3.1%	317,666	3.8%	▲ 52,675	83.4%
	上記以外その他	1,127,841	13.1%	1,167,257	14.0%	▲ 39,416	96.6%
	合計	8,580,944	100.0%	8,340,160	100.0%	240,784	102.9%

2-2. 内国貿易

図-8 内国貿易(移出・移入相手都道府県別)



※図-8・10・12 及び表-9・11 については、仕出・仕向港に基づく都道府県の集計である。

## 2-2-1. 移出

### (1)貨物量

移出貨物量は7,698千トン(前年比97.5%)であり、内国貿易の32.7%を占めている。<表-2, 図-8参照>

### (2)品種別

移出貨物量7,698千トンのうち「完成自動車」が2,800千トン(36.4%)、「その他輸送機械」が2,359千トン(30.6%)、「取合せ品」が841千トン(10.9%)であった。<図-9・10、表-8参照>

図-9 移出(7,698千トン)

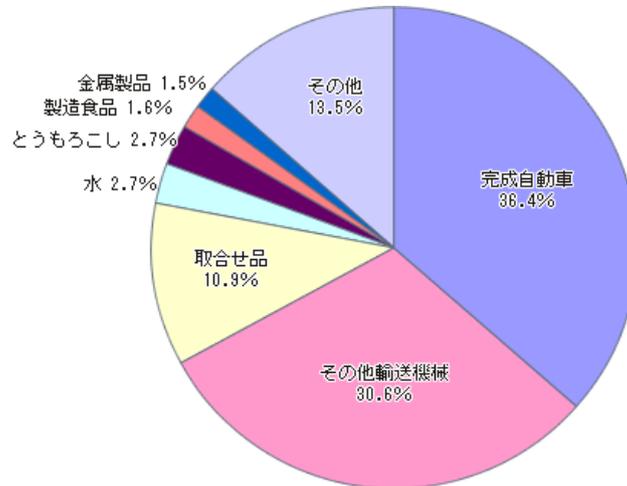
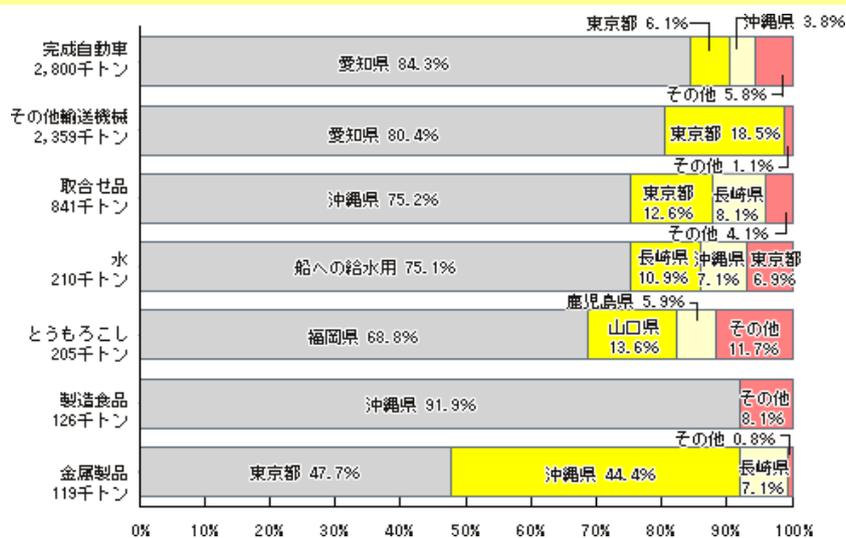


表-8 移出 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	平成16年	構成比	15年	構成比	増減	前年比
1	完成自動車	2,800,087	36.4%	3,197,167	40.5%	▲ 397,080	87.6%
2	その他輸送機械	2,358,773	30.6%	2,324,240	29.4%	▲ 34,533	101.5%
3	取合せ品	840,907	10.9%	854,911	10.8%	▲ 14,004	98.4%
4	水	210,208	2.7%	233,975	3.0%	▲ 23,767	89.8%
5	とうもろこし	205,431	2.7%	143,222	1.8%	▲ 62,209	143.4%
6	製造食品	125,541	1.6%	107,967	1.4%	▲ 17,574	116.3%
7	金属製品	118,965	1.5%	111,698	1.4%	▲ 7,267	106.5%
	上記以外その他	1,038,308	13.5%	924,201	11.7%	▲ 114,107	112.3%
	合計	7,698,220	100.0%	7,897,381	100.0%	▲ 199,161	97.5%

図-10 移出上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、愛知県が4,293千トン(55.8%)、沖縄県が1,181千トン(15.3%)、東京都が1,130千トン(14.7%)以下長崎県、兵庫県と続いている。<図-8、表-9 参照>

表-9 移出 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	仕向都道府県名	平成16年	構成比	15年	構成比	増減	前年比
1	愛知県	4,293,418	55.8%	4,813,451	60.9%	▲ 520,033	89.2%
2	沖縄県	1,181,250	15.3%	1,154,116	14.6%	27,134	102.4%
3	東京都	1,129,635	14.7%	926,439	11.7%	203,196	121.9%
4	長崎県	227,836	3.0%	233,353	3.0%	▲ 5,517	97.6%
5	兵庫県	188,373	2.4%	170,956	2.2%	17,417	110.2%
6	福岡県	149,920	1.9%	120,882	1.5%	29,038	124.0%
7	岡山県	95,016	1.2%	88,533	1.1%	6,483	107.3%
	上記以外その他	432,772	5.6%	389,651	4.9%	43,121	111.1%
	合計	7,698,220	100.0%	7,897,381	100.0%	▲ 199,161	97.5%

2-2-2. 移入

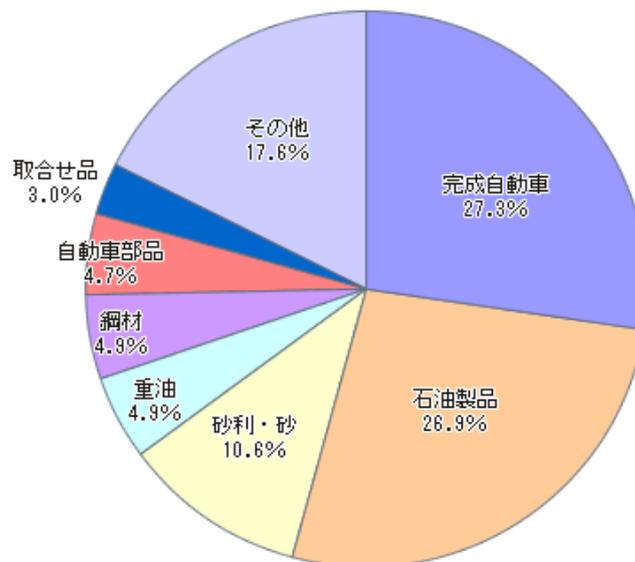
(1)貨物量

移入貨物量は15,822千トン(前年比96.8%)であり、内国貿易の67.3%を占めている。<表-2、図-8参照>

(2)品種別

移入貨物量15,822千トンのうち「完成自動車」が4,312千トン(27.3%)、「石油製品」が4,251千トン(26.9%)、「砂利・砂」が1,683千トン(10.6%)であった。<図-11・12、表-9参照>

図-11 移入(15,822千トン)

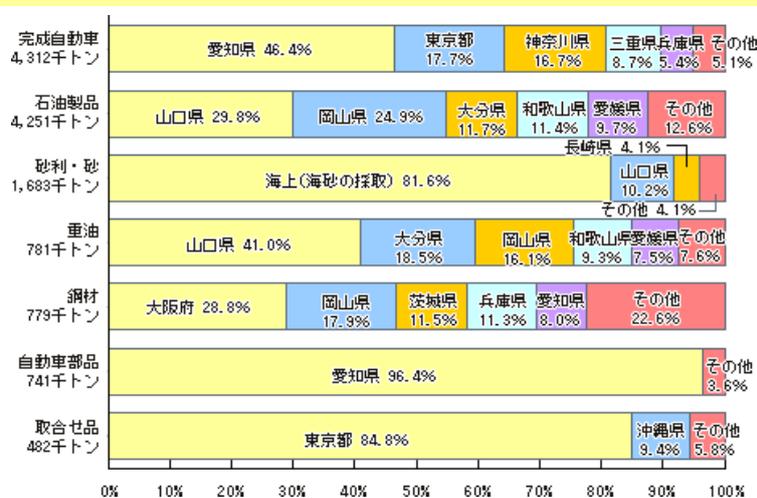


表－10 移入 品種別取扱量(上位7品種)

(単位:トン)

順位	品種	平成16年	構成比	15年	構成比	増減	前年比
1	完成自動車	4,312,070	27.3%	4,253,413	26.0%	58,657	101.4%
2	石油製品	4,251,232	26.9%	4,137,702	25.3%	113,530	102.7%
3	砂利・砂	1,683,479	10.6%	2,435,427	14.9%	▲ 751,948	69.1%
4	重油	781,035	4.9%	734,718	4.5%	46,317	106.3%
5	鋼材	779,350	4.9%	782,117	4.8%	▲ 2,767	99.6%
6	自動車部品	741,342	4.7%	752,988	4.6%	▲ 11,646	98.5%
7	取合せ品	481,821	3.0%	320,097	2.0%	161,724	150.5%
	上記以外その他	2,791,172	17.6%	2,929,289	17.9%	▲ 138,117	95.3%
	合計	15,821,501	100.0%	16,345,751	100.0%	▲ 524,250	96.8%

図－12 移入上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、愛知県が3,082千トン(19.5%)、山口県が2,067千トン(13.1%)、東京都が2,055千トン(13.0%)以下岡山県、大分県と続いている。(図－8、表－11 参照)

表－11 移入 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	仕出都道府県名	平成16年	構成比	15年	構成比	増減	前年比
1	愛知県	3,082,335	19.5%	3,180,920	19.5%	▲ 98,585	96.9%
2	山口県	2,067,016	13.1%	2,110,740	12.9%	▲ 43,724	97.9%
3	東京都	2,054,604	13.0%	1,638,582	10.0%	416,022	125.4%
4	岡山県	1,384,189	8.7%	1,282,843	7.8%	101,346	107.9%
5	大分県	843,306	5.3%	783,047	4.8%	60,259	107.7%
6	神奈川県	789,624	5.0%	809,911	5.0%	▲ 20,287	97.5%
7	兵庫県	596,276	3.8%	619,547	3.8%	▲ 23,271	96.2%
	上記以外その他	5,004,151	31.6%	5,920,161	36.2%	▲ 916,010	84.5%
	合計	15,821,501	100.0%	16,345,751	100.0%	▲ 524,250	96.8%

### 3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、611,184TEU(前年比 107.8%)であった。なお、ダイレクトコンテナは 570,891TEU(同 107.3%)、フィーダーコンテナは 40,293TEU(同 114.7%)であった。<図-13、表-12 参照>

図-13 国際海上コンテナ個数の推移

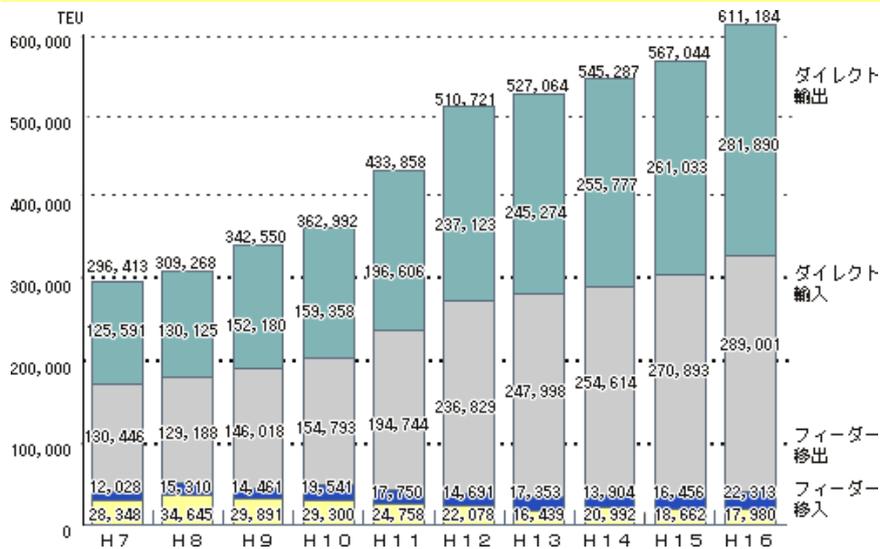


表-12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分		平成 16 年		15 年		14 年		13 年	
		個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比	個数	前年比
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	281,890	108.0%	261,033	102.1%	255,777	104.3%	245,274	103.4%
	輸入	289,001	106.7%	270,893	106.4%	254,614	102.7%	247,998	104.7%
	計	570,891	107.3%	531,926	104.2%	510,391	103.5%	493,272	104.1%
内国貿易 (フィーダー)	移出	22,313	135.6%	16,456	118.4%	13,904	80.1%	17,353	118.1%
	移入	17,980	96.3%	18,662	88.9%	20,992	127.7%	16,439	74.5%
	計	40,293	114.7%	35,118	100.6%	34,896	103.3%	33,792	91.9%
総数	輸移出	304,203	109.6%	277,489	102.9%	269,681	102.7%	262,627	104.3%
	輸移入	306,981	106.0%	289,555	105.1%	275,606	104.2%	264,437	102.1%
	計	611,184	107.8%	567,044	104.0%	545,287	103.5%	527,064	103.2%

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

#### 4. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が66万人(前年比 130.3%)、内国航路は136.3万人(同 105.9%)となり、外内航あわせて202.3万人(同 112.8%)であった。<図-14、表-13 参照>

図-14 船舶乗降人員の推移

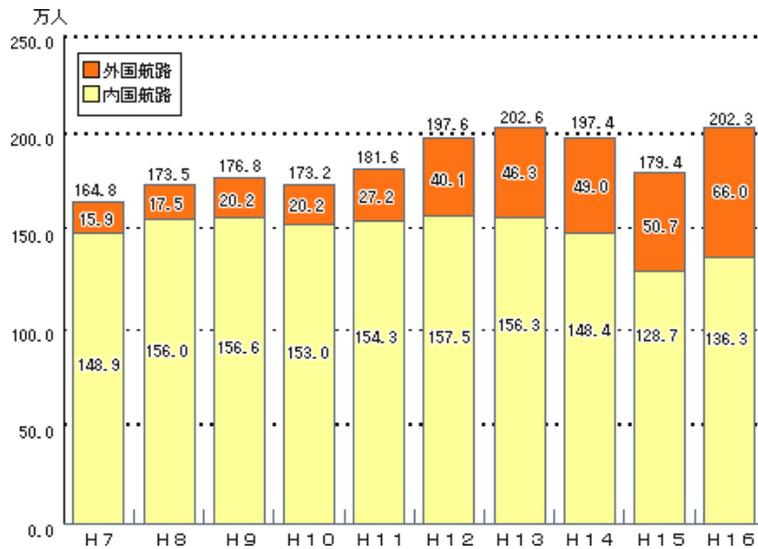


表-13 船舶乗降人員の推移

(単位:人)

区分		平成16年		15年		14年		13年	
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比
外国航路	乗込人員	331,465	129.7%	255,561	103.6%	246,684	106.3%	231,989	114.3%
	上陸人員	328,576	130.8%	251,178	103.4%	242,999	105.2%	230,993	116.6%
	計	660,041	130.3%	506,739	103.5%	489,683	105.8%	462,982	115.4%
内国航路	乗込人員	699,902	105.8%	661,309	87.0%	759,730	94.8%	801,016	98.9%
	上陸人員	663,177	105.9%	626,145	86.4%	724,381	95.1%	762,049	99.6%
	計	1,363,079	105.9%	1,287,454	86.7%	1,484,111	94.9%	1,563,065	99.2%
総計	乗込人員	1,031,367	112.5%	916,870	91.1%	1,006,414	97.4%	1,033,005	102.0%
	上陸人員	991,753	113.0%	877,323	90.7%	967,380	97.4%	993,042	103.1%
	計	2,023,120	112.8%	1,794,193	90.9%	1,973,794	97.4%	2,026,047	102.5%